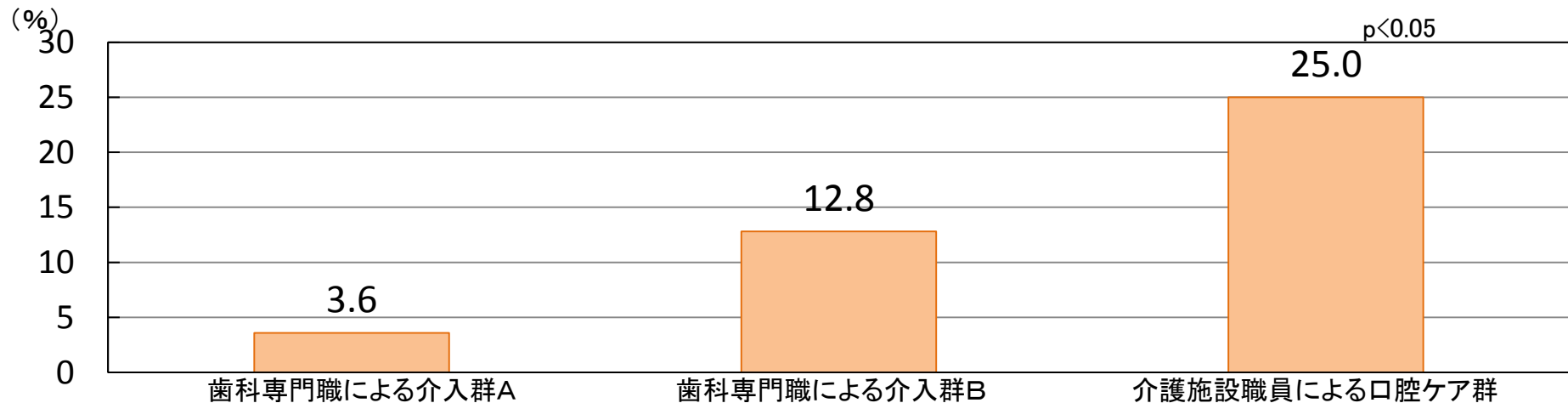


歯科専門職の評価に基づく口腔衛生管理の効果

- 介護保険施設入所者に対し、歯科医師または歯科衛生士の評価に基づく口腔ケア・マネジメント及び歯科衛生士による週1～2回の専門的口腔ケアを組み合わせた実施群が、介護施設職員による口腔ケア群に比べて、肺炎の発症率が低かった。

東京都内および関東近県の介護老人福祉施設(9施設)に入所している高齢者367名(平均年齢85.9±8.2歳)を対象に3年間(H18年4月～H20年3月)にわたる肺炎の発症の有無を比較



		歯科医師または 歯科衛生士の 評価に基づく 口腔ケア・マ ネジメント	歯科衛生士に よる専門的な 口腔ケア(週1 ～2回)	介護施設職 員による日常 的口腔ケア
歯科専門職に よる介入群A	口腔ケア・マネジメントを実施した4施設に入居する256名(平均年齢86.5±6.3歳)のうち、5歯以上を有する28名	○	○	○
歯科専門職に よる介入群B	口腔ケア・マネジメントを実施した4施設に入居する256名(平均年齢86.5±6.3歳)のうち、A群と同等の条件をもつ39名	○	—	○
施設職員による 口腔ケア	歯科専門職の介入のない3施設111名(平均年齢85.5±8.9歳)のうち、A群と同等の条件をもつ40名	—	—	○

菊谷 武ほか:介護施設における歯科衛生士介入の効果 (日本口腔リハビリテーション学会雑誌, 24:65-70, 2011.)